2026年11月9日

各 位

会 社 名　株 式 会 社 ステムリム
代表者名　代表取締役社長 CEO 岡島 正恒
（コード番号：4599 東証グロース）
問合せ先　経 営 管 理 部 水野 基樹
（電話番号：072-648-7152）

再生誘導医薬®レダセムチド（HMGB1 断片ペプチド）の軟骨疾患を適応症とした特許登録（イスラエル）のお知らせ

当社から塩野義製薬株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役会長兼社長CEO：手代木 功）へ導出済みの再生誘導医薬®開発候補品レダセムチド（HMGB1[1)]より創製したペプチド医薬、開発コード：S-005151）を利用した軟骨疾患（外傷性軟骨欠損症、変形性関節症、離断性骨軟骨炎等）に対する新規治療に係る用途特許について、下記のとおりイスラエルにおいて特許が登録されることとなりましたので、お知らせいたします。

発明の名称	：	軟骨疾患の治療薬
出願地域	：	イスラエル
出願番号	：	282377
登録（公告）番号	：	未定
出願人	：	株式会社ステムリム、国立大学法人大阪大学

本特許は、現在開発が進んでいるレダセムチドの適応症の拡大を目的とするものであり、本特許の成立により、イスラエルにおけるレダセムチドに基づく軟骨疾患（外傷性軟骨欠損症、変形性関節症、離断性骨軟骨炎等）の治療薬開発の可能性を担保することができるものと考えます。

軟骨疾患は、軟骨の損傷や変性により疼痛や関節機能障害を生じます。軟骨は自己修復能が乏しいため、疾患は慢性化・進行性になりやすい点が特徴です。レダセムチドは、静脈内投与により骨髄由来の間葉系幹細胞（MSC）を血中に動員し、損傷部位へ集積させることが確認されており、これにより、膝関節内の軟骨損傷部で組織修復・再生が促進されると考えられています。静脈注射という、患者負担の少ない投与形態を有するレダセムチドは、今後の医療現場において極めて有用な選択肢となることが期待されます。

なお、本件による2027年7月期通期業績への影響はありませんが、開示すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以 上

1) HMGB1（High Mobility Group Box 1）：体内の間葉系幹細胞を患部に誘導する細胞の核内タンパク質の1つ

※「再生誘導」、「再生誘導医薬」、「再生誘導医学」、「再生誘導医療」はステムリムの登録商標です。